



手書き業務支援システム

Handwriting Data Collection and Conversion System

(HCC) Basic

取扱説明書 v1.1

(01.01.00.1030)

目次

目次.....	2
はじめに	5
HANDWRITING DATA COLLECTION AND CONVERSION SYSTEM とは	5
システム必要条件	5
内容物	5
商標情報	5
製品のサポート	6
著作権表示	6
ソフトウェアのインストール	7
第 1 章 HCC の機能と活用の流れ	9
手書きデータ集計の流れ	9
第 2 章 メインメニュー	10
アプリケーションの起動	10
メインメニューの説明	10
その他の機能	12
第 3 章 -メイン機能- 運用フォームの作成	13
画面説明	13
項目属性ファイルの新規作成	14
項目属性を指定する範囲を設定する	14
項目属性の内容を設定する	15
1. 指定範囲を確認する	16
2. 項目名を設定する	16
3-1. 項目タイプを選択する	16
3-2. 項目タイプを設定する -手書き文字認識項目-	16
項目値を設定する	18

項目属性を指定する範囲を修正する	18
項目属性を指定する範囲を削除する	18
複数の項目名を設定する	19
項目属性ファイルの概要について	20
項目属性ファイルの概要を表示する	20
項目属性ファイルの一覧	20
項目属性の一覧を表示する	20
項目属性の編集 -修正-	21
項目属性の編集 - コピー / 貼り付け / 削除 -	21
項目属性の並び替え	21
 第 4 章 -メイン機能- 手書きデータの読み込みと変換 ①	22
デジタルノートパッドのデータをパソコンに転送する	22
 第 5 章 -メイン機能- 手書きデータの読み込みと変換 ②	23
画面説明	23
パソコンに移動した手書きデータをパソコンに読み込む	24
手書きデータの位置補正	25
手書きデータを CSV に変換する	27
CSV データの修正	27
変換した CSV を保存する	27
 第 6 章 -出力機能- 印刷機能	29
画面説明	29
項目を設定したファイルを読み込む	30
印刷の設定をする	30
項目属性の指定範囲を表示して印刷する	31
手書きデータファイルの内容を表示して印刷する	31
PDF ファイルの内容を表示して印刷する	32
印刷プレビューを表示する	32
デジタルノートパッドでデータを記入する	32
 第 7 章 -修正機能- PDF ファイルのページ分割	33

画面説明	33
PDF ファイルを読み込む	34
PDF ファイルを分割する	34
第 8 章 —修正機能— 手書きデータのページ分割	35
画面説明	35
分割するファイルを開く	36
ページ分割を実行する	36
第 9 章 —修正機能— 変換データの修正	37
ファイルを開く	37
CSV データを修正する	38
ファイルを保存する	39
巻末	40
HCC での文字認識における文字種の組み合わせについて	40
1 文字種の組み合わせ	40
2 認識文字一覧	40
HCC におけるシステムパラメータの設定方法	48
1. システムパラメータの種類	48
2. レジストリ	51
3. 設定ファイル	51

はじめに

Handwriting Data Collection and Conversion System とは

本アプリケーションソフト（以下「HCC」）は、自分で作成・設定したフォームに、デジタルノートパッドで書き込んだ情報を CSV ファイルにコンバートすることが出来ます。

システム必要条件

パソコン環境	Intel Pentium4 2GHz 以上の CPU
	1024 x 768 以上の表示が可能なディスプレイ
	USB コネクタを備えた PC/AT 互換機
対応 OS	Windows VISTA / XP
対応デジタルノートパッド	Technote TN-A401 (A4 対応) / TN-A501 (A5 対応)

内容物

- Technote 本体
- デジタルインクペン 黒・赤・青×各 1 本
- 本体用単 4 アルカリ電池×4 本
- デジタルインクペン用ボタン電池(PR48)×3 個
- USB ケーブル タイプ A オス-mini B オス(ケーブル長：1.0m)
- オリジナルメモ帳
- キャリングケース
- HCC ソフトウェア CD-ROM×1 枚
- HCC 取扱説明書
- デジタルインクペン用替え芯黒・赤・青×各 1 本
- 本体電池カバー固定用ネジ・ドライバー×1 セット

商標情報

“Technote” および “TN-A501 / TN-A401” は有限会社海連、スリーエーシステムズ有限会社、ポトス株式会社の登録商標です。

“Microsoft” と “Windows” はマイクロソフト株式会社の登録商標です。

“Pentium” はインテル株式会社の登録商標です。

“Adobe” と “Acrobat” はアドビ・システムズの登録商標です。

他のすべての商標はそれぞれの所有者が保持する商標です。

製品のサポート

有限会社 海連 ユーザーサポート係

住所： 〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町 11-1

※操作に関してのお問合せは、問合せ専用メールアドレスでお受けいたします。お問合せには平日 24 時間以内にご回答申し上げます。

e-mail： support@kairen.co.jp

サポート時間： 10:30～18:00 （土・日曜日、祝祭日を除く）

著作権表示

本書に含まれる内容のすべては有限会社 海連が著作権を有しております。

本書に含まれる内容の全体もしくは一部を、無断で複製、あるいは頒布する行為を一切禁じます。

注：このマニュアルの中で言及された仕様書は予告なしに変更の対象です。

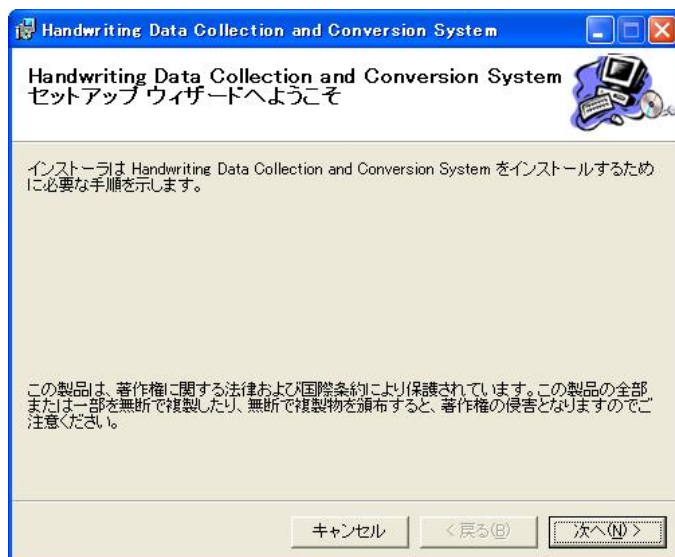
ソフトウェアのインストール

※必ず管理者 (Administrator) 権限にてインストールを行ってください。

- ・アプリケーション CD を CD-ROM ドライブのトレイに挿入する

アプリケーション CD の内容が自動的に読み込まれて「セットアップウィザード」が起動します。

表示された内容を確認して **次へ (N) >** をクリックします。



- ・HCC のインストール先を指定します。

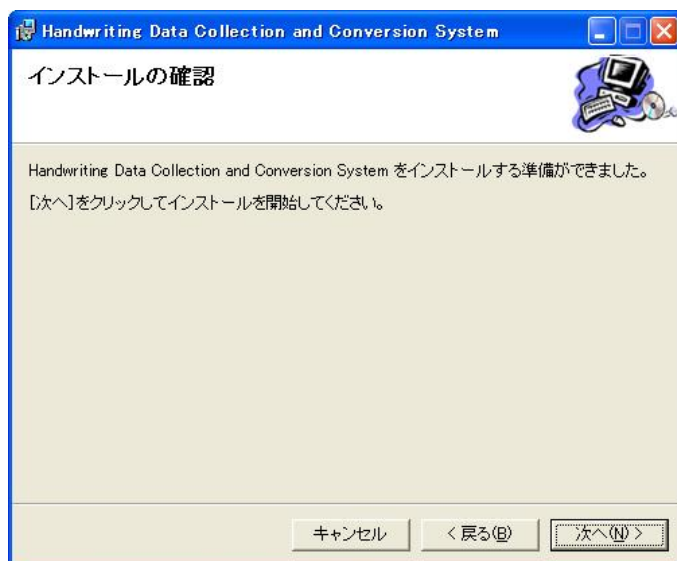
デフォルトのインストール先は、「C:\Program Files\KAIREN\HCC\」になります。インストール先を変更する場合は **参照 (R)** をクリックして、インストールするフォルダを選択します。



※「このユーザーのみ」にチェックを入れます。(デフォルトでチェックされています)

・インストールの確認

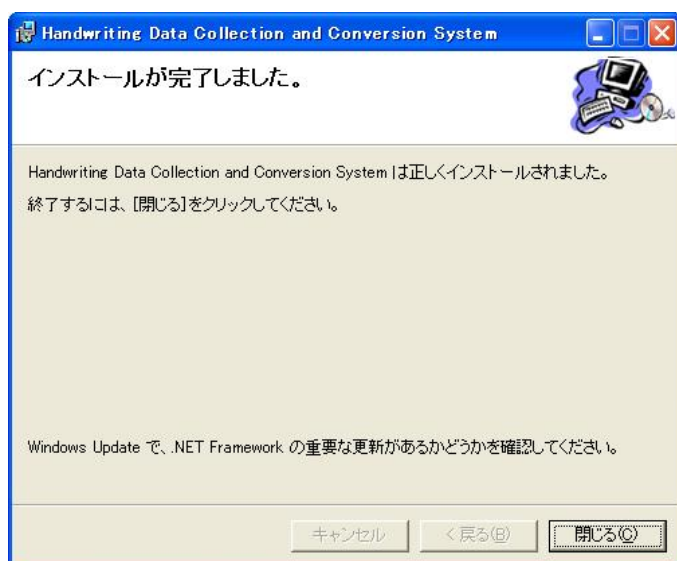
表示された内容を確認して **次へ (N) >** をクリックします。



・インストールの完了

自動的にインストールが完了し、メッセージが表示されます。

表示された内容を確認して **閉じる (C)** をクリックします。



●注意事項

※正規版をご購入いただいたお客様は、メインメニューからシリアル番号の入力を行ってください。

※インストールから 90 日経過した後、シリアル番号の入力を行わないと本プログラムを起動することが出来なくなります。

・ご利用頂くパソコンに Microsoft NET Framework 2.0 がインストールされていないときは、HCC のインストール時に Microsoft NET Framework 2.0 もインストールされます。

第 1 章 HCC の機能と活用の流れ

手書きデータ集計の流れ

定型フォームの作成

定型フォームを Word や Excel などで作成し、PDF ファイルで保存します。

既存のフォームをスキャナで取り込み、PDF で保存しても使用できます。



項目属性データの作成

保存した PDF に項目属性と CSV データを出力する際の項目値を定義します。



定型フォームの印刷

作成された定型フォームの印刷を行います。
普段使っているプリンタで普通紙に印刷できます。



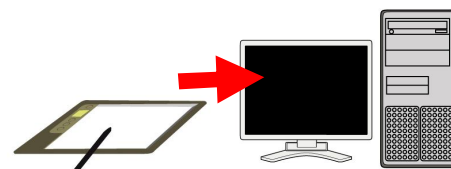
定型フォームへの記入

印刷した定型フォームをデジタルノートパッドにセットして、
専用ペンで情報を記入します。



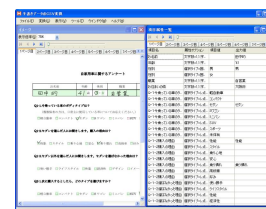
記録したデータの転送

デジタルノートパッドをパソコンに接続し、記録したデータをパソコンに転送します。



手書きデータの CSV 変換

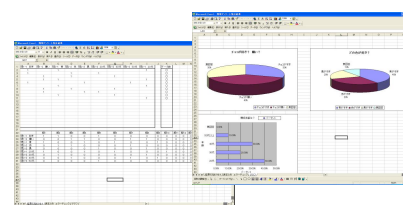
記録されたデータを解析して CSV ファイルに変換します。
実際に記入されたデータを確認しながら変換を行えます。



CSV データの校正 と CSV データの活用

記録されたデータを確認しながらデータの修正・校正を行う事ができます。

出力された CSV データを加工してデータの整理や分析が可能です。



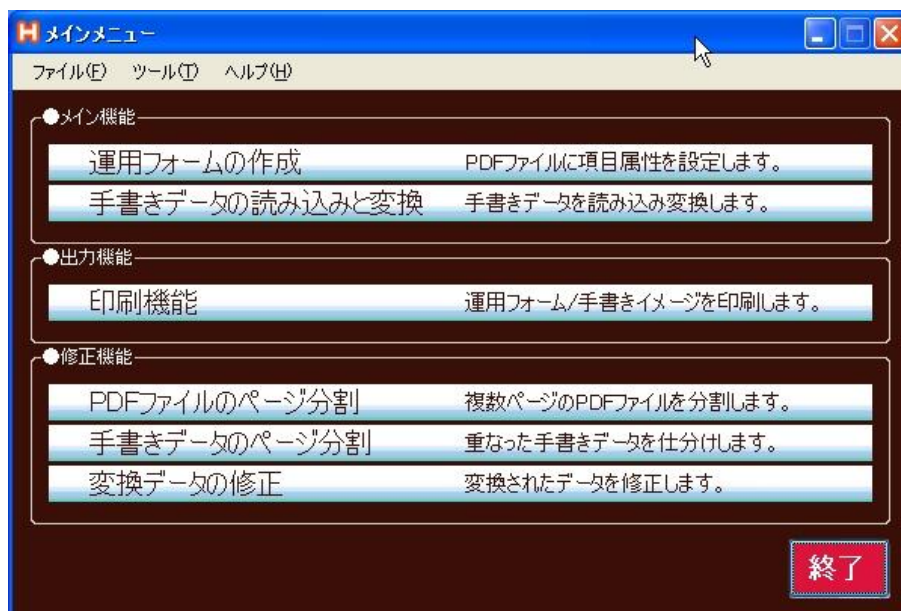
第2章 メインメニュー

アプリケーションの起動

HCC の起動方法には、次の 2 つの方法があります。

- 「スタート」 > 「すべてのプログラム」 > 「HCC」 > 「HCC」 をクリックして、アプリケーションを起動します。
- デスクトップ・アイコン  をクリックして、アプリケーションを起動します。

アプリケーションを起動すると「メインメニュー」ウィンドウが表示されます。



メインメニューの説明

メインメニューの各メニューボタンをクリックすると、それぞれの作業用のウィンドウが表示されます。各メニューの内容は以下の通りです。

運用フォームの作成：

PDF に項目属性（手書き文字の認識、レ点・○囲み判定など）と CSV データを出力する際の項目値を定義します。

手書きデータの読み込みと変換：

手書きデータをパソコンに読み込み、記録されたデータを解析して CSV ファイルに変換します。

印刷機能：

項目属性を定義した運用フォームを印刷します。また、運用フォームに手書きデータを重ねて印刷することもできます。

PDF ファイルのページ分割：

HCC で利用するために複数ページの PDF ファイルを 1 ページごとに分割します。

手書きデータのページ分割：

通常の操作では必要ありませんが、デジタルノートパッドの改ページボタンを押さずに、複数枚のデータを記入した場合、任意のストロークでページの分割ができます。

変換データの修正：

記録されたデータを確認しながら CSV ファイルの修正・校正を行うことができます。

ヘルプ：シリアル番号入力

シリアル番号を入力し、体験版の制限を解除します。

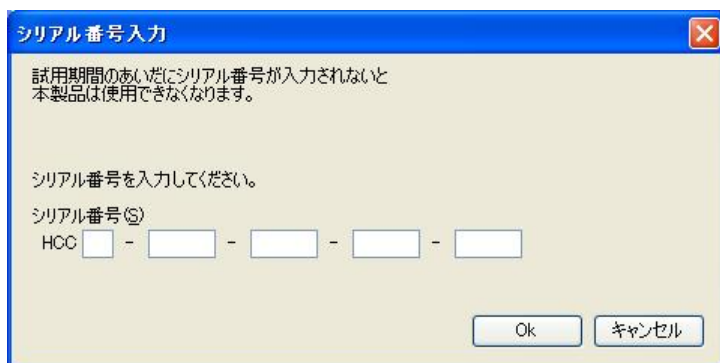
ヘルプ (H) をクリックすると「HCC MENU のバージョン情報」ウィンドウが表示されます。



※正規版をご購入いただいたお客様は、シリアル番号の入力を行ってください。

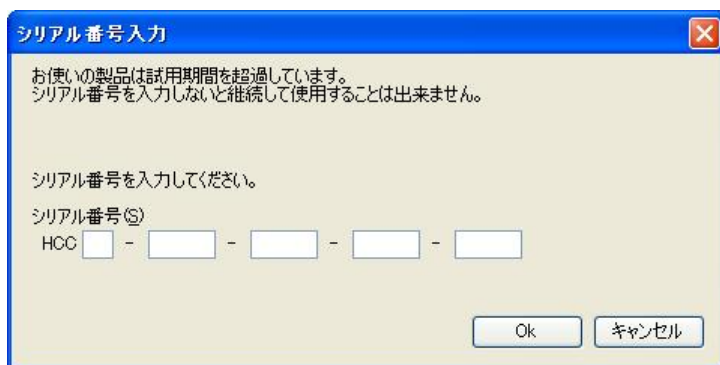
※インストールから 90 日経過した後、シリアル番号の入力を行わないと本プログラムを起動することが出来なくなります。

[シリアル番号ボタン]をクリックすると「シリアル番号入力」ウィンドウが表示されます。



弊社から発行されたシリアル番号を入力して[OK]をクリックしてください。

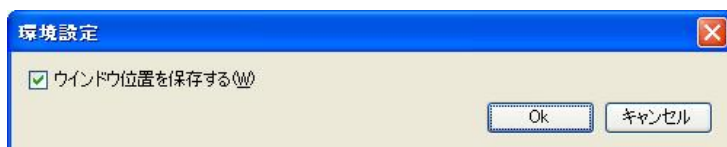
※試用期間が過ぎたあとにプログラムを起動すると、以下の画面が表示されます。
その場合、上記と同様にシリアル番号を入力してください。



その他の機能

・ウィンドウの固定

メニューバーの「ツール (T)」>「オプション (O)」をクリックすると環境設定ウィンドウが表示されます。



「ウインドウの位置を保存する (W)」に ☒ をつけると、今後アプリケーションを起動した時、メインメニューのウィンドウの位置を固定できます。

☒ を再度クリックし、チェックをはずすとウィンドウの位置を固定が解除されます。
※現在表示されている位置に固定されます。

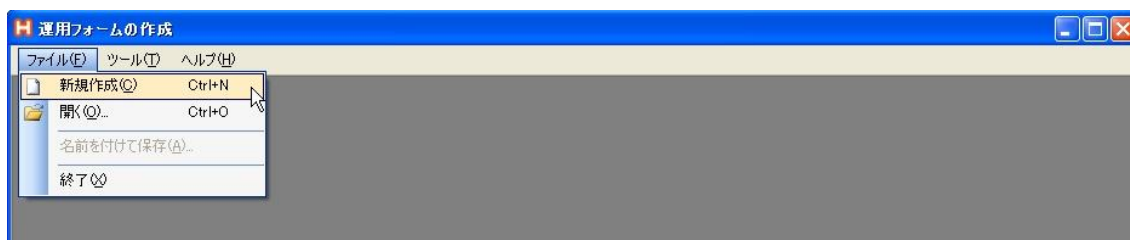
第3章 -メイン機能- 運用フォームの作成

画面説明

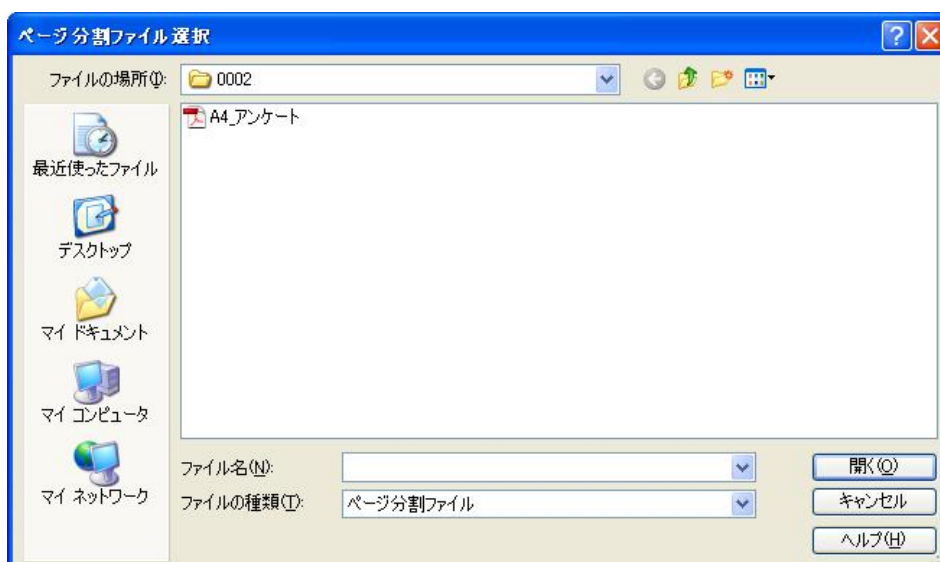
番号	名称	説明
1	メニューバー	項目属性ファイル作成の機能全般
2	イメージウインドウ	項目属性の設定を行うウィンドウです
3	項目属性ファイルの概要ウインドウ	編集しているファイルの概要やメモを記入できます
4	項目属性一覧ウインドウ	設定した項目属性の一覧を表示します
5	最小化ボタン	ウィンドウを最小まで縮小してタスクバーに置くボタン
6	最大化ボタン	ウィンドウを拡大するボタン
7	閉じるボタン	ウィンドウを閉じるボタン

項目属性ファイルの新規作成

メニューバーの「ファイル (F)」>「新規作成 (C)」をクリックします。



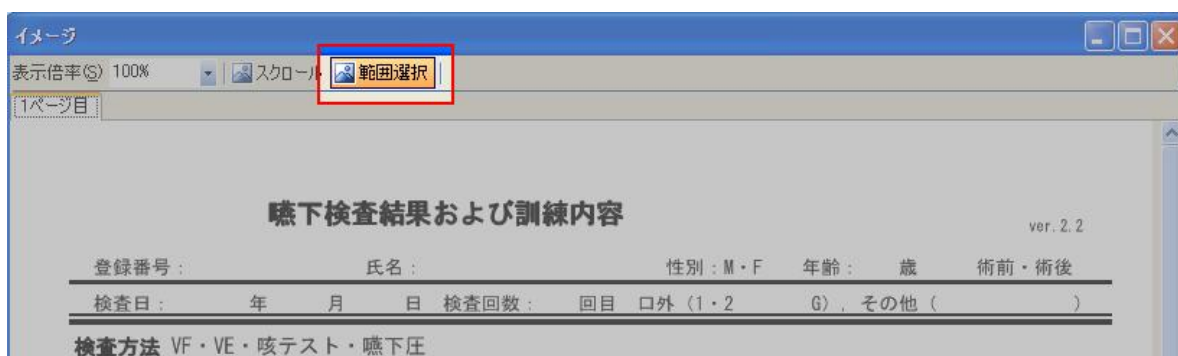
「ページ分割ファイルの選択」のダイアログボックス内にて項目属性を付けるファイルを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



項目属性を指定する範囲を設定する

定型フォームに項目属性を設定する作業は「イメージウインドウ」で行います。

「イメージウインドウ」上部の「選択範囲」をクリックします。



項目属性を設定したい範囲をマウスの左ドラックで指定します。

項目を設定する範囲

氏名 : 性別 : 男・女 年齢 : 歳

開始点

終了点

氏名 : 性別 : 男・女 年齢 : 歳

選択した範囲が緑色に表示されます。

項目属性の内容を設定する

緑色に表示された範囲の上にマウスカースルを移動し、マウスを右クリックします。
指定した選択範囲がオレンジ色に変わり、ポップアップメニューが表示されます。

1 指定範囲 左端(mm) 32.5 上端(mm) 20.6 右端(mm) 65.1 下端(mm) 29.4

2 項目名 3 接頭語追加

4 項目タイプ

5 項目値

6 Ok 7 キャンセル 8 削除

番号	名称	説明
1	指定範囲	範囲指定した場所を数字 (mm) で表記します
2	項目名	項目の名称を入力します
3	接頭語追加ボタン	「項目名」に登録した接頭語を追加します
4	項目タイプ	認識する項目のタイプを選択します
5	項目値	CSV に出力される値を入力します ※項目タイプが「選択項目」のときだけ表示されます
6	OK ボタン	入力した設定を反映します
7	キャンセルボタン	入力した設定をキャンセルします
8	削除ボタン	指定した選択範囲を削除します

1. 指定範囲を確認する

現在項目属性を設定している範囲の座標が表示されます。テキストボックスに直接数値を入力することで微調整することができます。

2. 項目名を設定する

接頭語ボタンの右横のテキストボックスに項目名を入力します。

3-1. 項目タイプを選択する

項目タイプの右横にある  ボタンをクリックすると、項目タイプの一覧が表示されます。設定する項目タイプを選択します。



- 「手書き文章認識項目」 : 手書き文字をテキストデータとして認識します。
- 「選択項目」 : レ点や○囲みなどの選択項目として認識します。
- 「フリーハンド項目」 : 手書き文字を画像データとして保存します。

3-2. 項目タイプを設定する -手書き文字認識項目-

項目タイプで「手書き文章認識項目」を選択します。

項目タイプの下に「字種」と「よこ」「たて」の入力欄が表示されます。

字種の右横にある  ボタンをクリックすると、字種の一覧が表示されます。



選択範囲に記入される手書き文字の種類を選択します。

字種の内容は以下の通りです。

日本語+英数字	ひらがな、カタカナ、アルファベット、JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字、数字、記号、ギリシャ文字、句読点を認識します。
ひらがな	ひらがな、記号、句読点を認識します。
カタカナ	カタカナ、記号、句読点を認識します。
ローマ字	アルファベット、記号、句読点を認識します。
全角数字	数字を全角数字として認識します。
半角数字	数字を半角数字として認識します。
数値	数字を認識します。

※ 詳細は巻末資料をご覧ください。

次に「よこ」「たて」の文字数を入力します。
 入力した文字数で選択範囲に升目が表示されます。

3-3. 項目タイプを設定する -選択項目-

項目タイプで「選択項目」を選択します。

選択タイプの右横にある  ボタンをクリックすると、選択タイプの一覧が表示されます。



認識させる選択タイプを選択します。

選択タイプは以下の通りです。

レ点選択	チェックボックスにチェックが入った時に、設定した項目値を出力します。
囲み選択	選択範囲をまるで囲んだ時に、設定した項目値を出力します。

3-4. 項目タイプを設定する –フリーハンド項目–

項目タイプで「フリーハンド項目」を選択します。

画像タイプの右横にある  ボタンをクリックすると、画像タイプの一覧が表示されます。



保存するファイルタイプを選択します。

記入した手書きデータと一緒に背景の画像も出力したいときは「背景出力」の ☐ をクリックしてチェックを付けます。

項目値を設定する

項目値の右横のテキストボックスに CSV に出力する項目値を入力します。

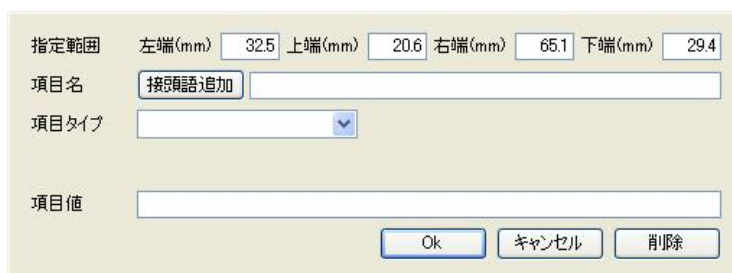
全ての設定を入力し、 ボタンを押します。

指定範囲の項目設定が完了し、範囲が緑色から水色に変わります。

項目属性を指定する範囲を修正する

水色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。

指定した選択範囲がオレンジ色になり、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。



内容を修正して ボタンを押します。

項目属性を指定する範囲を削除する

水色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。

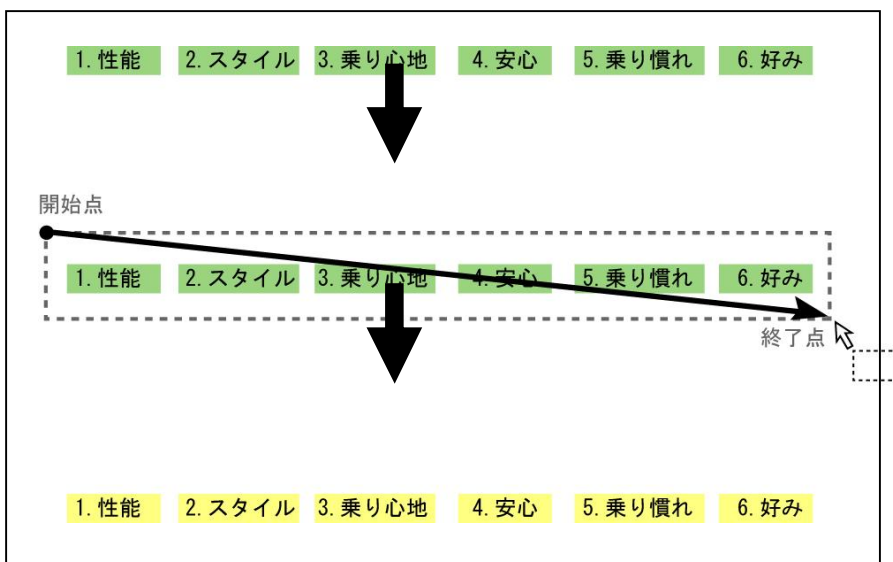
指定した選択範囲がオレンジ色になり、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。

ボタンを押すと、指定した範囲が消去されます。

複数の項目名を設定する

複数の指定範囲の項目名に接頭語を追加することができます。

「Ctrl キー」を押しながら設定範囲を左クリックするか、「Ctrl キー」を押しながら指定したい設定範囲が含まれるように左ドラッグすることで、グループ化することができます。指定した範囲は「薄黄色」に変わります。



薄黄色に表示された範囲の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックします。接頭語ポップアップメニューが表示されます。



テキストボックスに追加する接頭語を記入します。

接頭語追加 ボタンをクリックし、次に **OK** ボタンをクリックします。

入力した接頭語がメモリに保存され、項目設定ポップアップメニューの **接頭語追加** ボタンで、記憶した接頭語を追加できます。

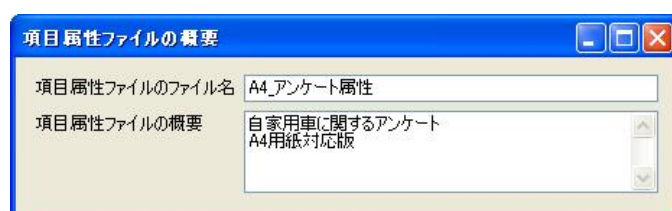
The screenshot shows a settings window with the following fields and buttons: '指定範囲' (Designation Range) with sub-fields for '左端(mm)' (32.8), '上端(mm)' (22.5), '右端(mm)' (64.3), and '下端(mm)' (29.4); '項目名' (Item Name) with a dropdown menu showing '接頭語追加'; '項目タイプ' (Item Type) with a dropdown menu; and '項目値' (Item Value) with a text input field. At the bottom are three buttons: 'Ok', 'キャンセル' (Cancel), and '削除' (Delete).

項目属性ファイルの概要について

この項目では現在編集している項目属性ファイルの名前と概要をメモすることができます。
ここで記入した内容は CSV ファイルには出力されません。

項目属性ファイルの概要を表示する

メニューバーの「表示 (V)」>「項目属性ファイルの概要 (D)」をクリックします。
項目属性ファイルの概要ウィンドウが表示されます。



ファイルの名前と概要などを記入して、メモとして活用ください。

項目属性ファイルの一覧

設定した項目属性を一覧表示・編集することができます。

項目属性の一覧を表示する

メニューバーの「表示 (V)」>「項目属性の一覧 (L)」をクリックします。
項目属性の一覧ウィンドウが表示されます。

項目属性一覧				
1ページ目	1			
項目名	指定範囲	属性タイプ	属性オプション	項目値
お名前	18.5, 43.7, 72.5, 51.6	手書き文章認識項目	文字数=1.1;字種=漢字	スポーツ
年齢	72.8, 43.9, 85.2, 51.3	手書き文章認識項目	文字数=1.1;字種=半角...	
性別	95.3, 44.5, 100.0, 50.5	選択項目	選択タイプ=囲み選択	男
性別	103.5, 44.5, 106.6, 51.1	選択項目	選択タイプ=囲み選択	女
職業	110.9, 43.7, 147.1, 51.3	手書き文章認識項目	文字数=1.1;字種=漢字	
お住まいの県	147.4, 43.7, 192.1, 51.6	手書き文章認識項目	文字数=1.1;字種=漢字	
Q-1今乗っている車のタ...	24.3, 76.5, 27.3, 80.7	選択項目	選択タイプ=レ点選択	軽自動車
Q-1今乗っている車のタ...	46.6, 76.2, 49.5, 81.0	選択項目	選択タイプ=レ点選択	コンパクト
Q-1今乗っている車のタ...	72.8, 77.5, 75.7, 80.7	選択項目	選択タイプ=レ点選択	セダン

番号	名称	説明
1	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
2	項目設定タイトル	設定する項目のタイトル名です
3	項目設定一覧フィールド	設定した項目の内容を表示するエリアです

項目属性の編集 -修正-

項目設定一覧ウィンドウで、編集したい項目の行を左クリックすると、行全体が反転表示され、イメージウインドウの対応する選択範囲がオレンジ色に変わります。

反転表示された行の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックすると、項目属性の設定と同じポップアップメニューが表示されます。



内容を修正して **OK** ボタンを押します。

項目属性の編集 - コピー / 貼り付け / 削除 -

項目設定一覧ウィンドウで、任意の属性項目の行を左クリックすると、行全体が反転表示されます。

反転表示された行の上にマウスカーソルを移動します。

属性項目のコピー：「Ctrl + C」

選択された項目属性をメモリにコピーします。

属性項目の切り取り：「Ctrl + X」

選択された項目属性を切り取り、メモリにコピーします。

属性項目の削除：「Ctrl + D」

選択された項目属性を消去します。

属性項目の貼り付け：「Ctrl + V」

メモリにコピーした項目属性を貼り付けます。

項目属性の並び替え

項目設定タイトルの「項目名」「指定範囲」の上にマウスカーソルを移動し、マウスを右クリックすると項目属性の並び替えができます。

「項目名」では昇順・降順を選び並び替えができます。

「指定範囲」では横書き形式で並び替えができます。

第 4 章 -メイン機能- 手書きデータの読み込みと変換 ①

デジタルノートパッドのデータをパソコンに転送する

パソコンにデジタルノートパッドを接続すると、デジタルノートパッドの内蔵メモリはリムーバブルディスクとして検出されます。

リムーバブルディスクを開き、保存されているデータを、ドラッグ & ドロップで任意のフォルダに移動してください。



※「Ctrl」を押したままでファイルをクリックすると、ファイルを同時に全て選択することができます。

※「shift」を押しながら2つのファイルをクリックすると、2つのファイル間にある全てのファイルを同時に選択することができます。また、「shift」を押したままカーソルキーを使っても同じ操作が行えます。

第5章 -メイン機能- 手書きデータの読み込みと変換 ②

手書きデータの CSV 変換

画面説明

1

2

3

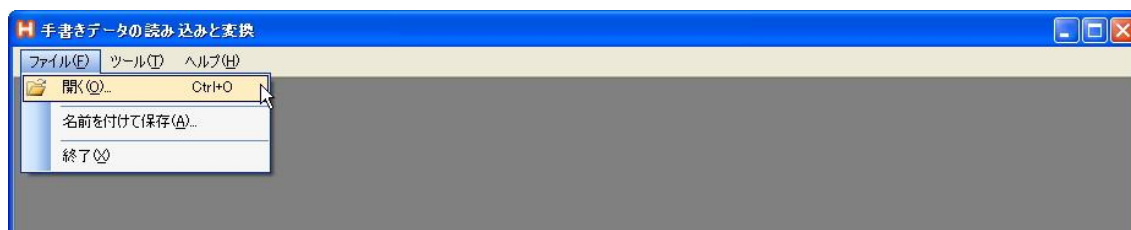
4

項目名	出力値	属性オプション	項目値
お名前	田中 的	文字数=6,1;字種=日本、	
年齢	41	文字数=2,1;字種=半角、	2
性別=男	1	選択タイプ=囲み選択	1
性別=女		選択タイプ=囲み選択	1
職業	自営業	文字数=5,1;字種=日本、	
お住まいの県	大阪府	文字数=5,1;字種=日本、	
Q-1-1 今 軽自動車		選択タイプ=点選択	1
Q-1-1 今 コンパクト		選択タイプ=点選択	1
Q-1-1 今 セダン	2	選択タイプ=点選択	2
Q-1-1 今 SUV		選択タイプ=点選択	3
Q-1-1 今 ミニバン		選択タイプ=点選択	4
Q-1-1 今 SUV		選択タイプ=点選択	5
Q-1-1 今 スポーツ		選択タイプ=点選択	5
Q-1-1 今 未保有		選択タイプ=点選択	0
Q-1-2 セダン選んだ	3	選択タイプ=点選択	3
Q-1-2 セダン選んだ		選択タイプ=点選択	3
Q-1-2 セダン選んだ		選択タイプ=点選択	5
Q-1-2 セダン選んだ		選択タイプ=点選択	3
Q-1-2 セダン選んだ	2	選択タイプ=点選択	2
Q-1-2 セダン選んだ		選択タイプ=点選択	5
Q-1-2 セダン選んだ		選択タイプ=点選択	2
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	3
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	2
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	5
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	2
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	5
Q-1-3 セダン以外選		選択タイプ=点選択	3
Q-1-3 選ばなかった理		選択タイプ=点選択	2
Q-2-1 次に購入予定		選択タイプ=点選択	1
Q-2-1 次に購入予定		選択タイプ=点選択	2

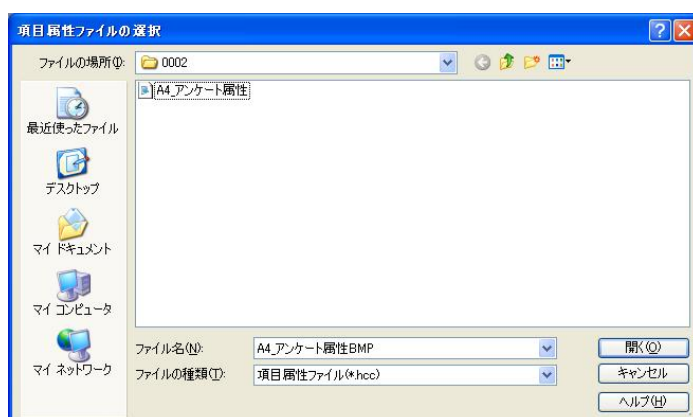
番号	名称	説明
1	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
2	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです
3	項目属性ファイルの概要ウインドウ	設定する項目属性ファイルの名前・概要を記入するウィンドウです
4	項目属性一覧ウインドウ	設定した項目属性を一覧表示します

パソコンに移動した手書きデータを読み込む

メニューバーの「ファイル (F)」>「開く (O)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて項目属性を設定した定型フォームを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて変換する手書きデータを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



※「Ctrl」を押したままでファイルをクリックすると、ファイルを同時に全て選択することができます。

※「shift」を押しながら2つのファイルをクリックすると、2つのファイル間にある全てのファイルを同時に選択することができます。また、「shift」を押したままカーソルキーを使っても同じ操作が行えます。

※「第6章 手書きデータをパソコンに転送する」で指定したフォルダを指定します。

手書きデータの位置補正

パソコンに取り込んだ手書きのデータと、定型フォームの位置がずれているときは、位置補正をかけて手書きデータの位置を調整します。

手書きデータの位置補正の起動方法には、次の 2 つの方法があります。

- イメージウィンドウ上でカーソルキーにて位置を調整する。
- 「位置補正」ウィンドウに数値を入力して位置を調整する。

・イメージウィンドウ上でカーソルキーにて位置を調整する。

キーボード上のカーソルキーを打鍵する事で、手書き入力データの位置を補正できます。

1. イメージウインドウ内をクリックし、ウィンドウをアクティブ状態にします。

2. 下記の表に従い、キーボードで操作が行えます。

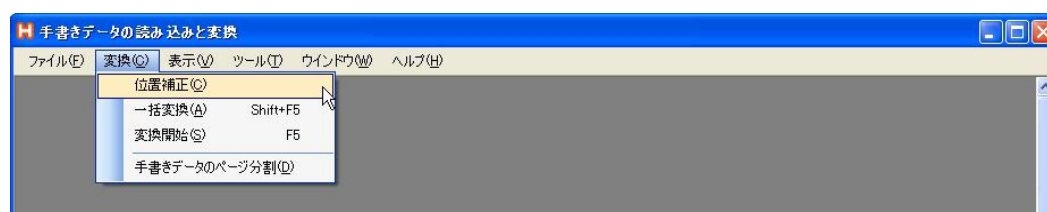
※上[↑]、下[↓]、左[←]、右[→]の移動が可能です。

※[Shift]キー、[Ctrl]キーと組合わせた操作でより細かい位置修正が可能です。

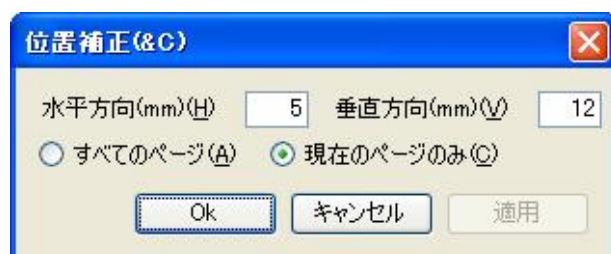
キー操作	移動する距離
カーソルキー	1mm
[Shift] + カーソルキー	0.1mm
[Ctrl] + カーソルキー	5mm

・「位置補正」ウィンドウに数値を入力して位置を調整する。

メニューバーの「変換 (C)」>「位置補正 (C)」をクリックします。



「位置補正」ウィンドウが表示されます。



水平方向と垂直方向に移動する距離を入力します。

※初期値は A4 版に合わせて設定されています。

※A5 版をご利用の場合は水平方向・垂直方向共に「0」を入力してください。

読み込んだ全てのデータの位置を修正する場合は「全てのページ」にチェックを付けます。
現在表示しているデータのみ位置を修正する場合は「現在のページのみ」にチェックを付けます。

☐ 適用 ボタンをクリックすると、イメージウインドウに移動後の位置が表示されます。

移動後の位置を確認し、 ボタンをクリックすると位置の補正が適用されます。

※一度「位置補正」した運用フォームと手書きデータは、次回ファイルを開いたときも位置情報が保存されています。

手書きデータのページ分割

第8章の「手書きデータのページ分割」のプログラムを起動します。

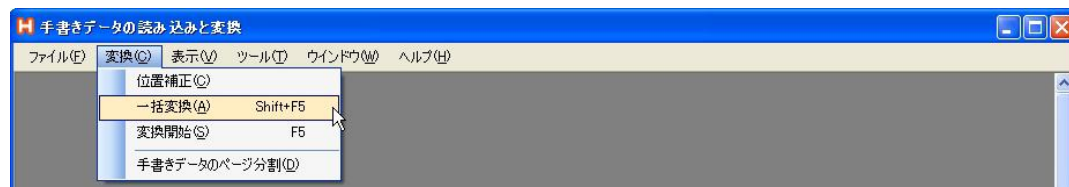
デジタルノートパッドの改ページボタンを押さずに、複数枚のデータを記入した場合、任意のストロークでページの分割ができます。

「手書きデータのページ分割」を開いているときは「手書きデータの読み込みと変換」ウインドウを操作することはできません。

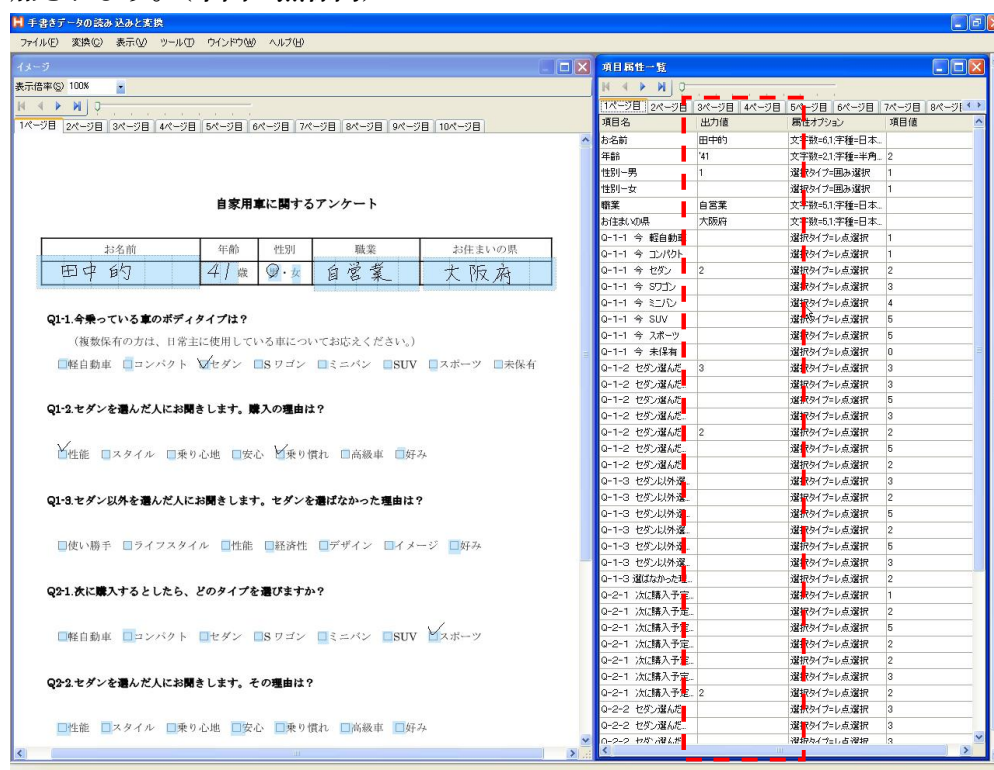
手書きデータを CSV に変換する

位置補正後に手書きデータを CSV に変換します。

メニューバーの「変換 (C)」>「一括変換 (A)」または「変換開始 (S)」をクリックします。



自動的に CSV ファイルの変換開始され、項目属性一覧ウィンドウに解析された出力値が追加されます。(下図 点線内)



CSV データの修正

項目属性一覧ウィンドウ内で、認識したデータの修正を行うことができます。

変更したい箇所にマウスカーソルを移動して、左クリックします。

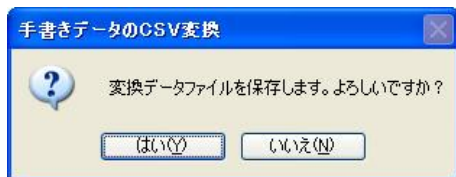
選択した箇所が反転し入力可能になりますので直接データを入力してください。

年齢	'41	文字数=2,1.字種=半角...	2
性別-男	1	選択タイプ=囲み選択	1
性別-女		選択タイプ=囲み選択	1
職業	自営業	文字数=5,1.字種=日本...	
お住まいの県	大阪府	文字数=5,1.字種=日本...	
Q-1-1 今 軽自動車		選択タイプ=レ点選択	1
Q-1-1 今 コンパクト		選択タイプ=レ点選択	1
Q-1-1 今 セダン	2	選択タイプ=レ点選択	2

変換した CSV を保存する

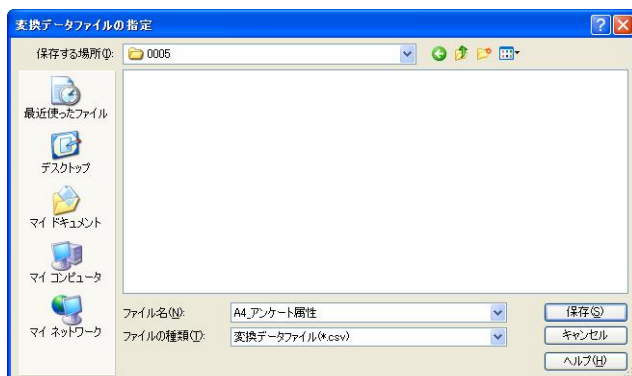
メニューバーの「ファイル (F)」>「名前を付けて保存 (A)」をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、 をクリックします。



「変換データファイルの指定」のダイアログボックスが表示されます。

保存場所を選択しファイル名を入力し、Enter キーまたは、 ボタンをクリックしてファイルを保存します。



下図のように、保存した CSV ファイルは Excel で確認することができます。

Microsoft Excel - A4 アンケート属性																	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	お名前	年齢	性別-男	性別-女	職業	お住まいの	Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-1	今Q-1-2	今Q-1-2	今Q-1-2
2	田中の	41	1		自営業	大阪府			2							3	
3	高山殿	20	1		歌手	東京都			2								
4	富田茂男	38	1		サラリーマン	埼玉県						5					
5	滝澤十三	38		1	AT&CE	新潟県											
6	泊田幸平	38		1	営業	千葉県											
7	山田太郎	32	1		会社員	東京都	1										
8	東山健	20	1		会社員	東京都		2									
9	河原井明	32	1		無職	東京							5				
10	洪崇富	43	1		会社員	東京都	1										
11	高津仁志	27	1		運送業	熊本県				4							
12	吉村久作	58	1		教師	三重県	1										
13	富山富士太郎	32	1		会社役員	東京都							5				
14																	
15																	
16																	
17																	

第 6 章 -出力機能- 印刷機能

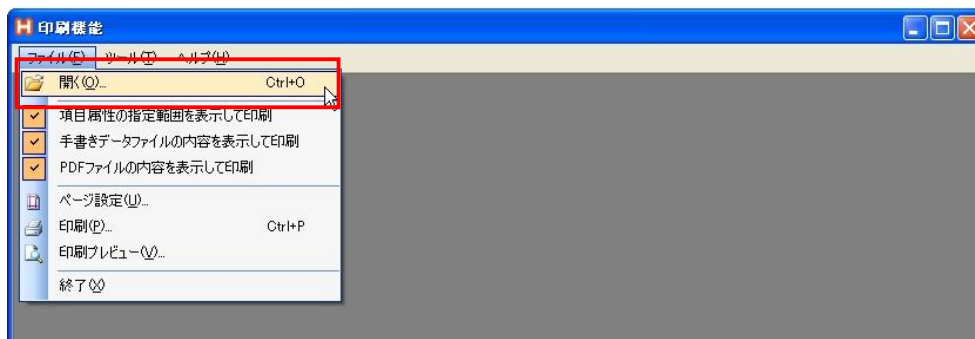
「項目属性ファイルの作成」で設定した定型フォーマットを印刷することができます。
また、設定した定型フォーマットに手書きデータを表示した状態も印刷できます。

画面説明

番号	名称	説明
1	メニューバー	PDF ファイルのページ分割機能全般
2	表示倍率ダイアログ	イメージウインドウの表示倍率を選択できます
3	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
4	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです

項目を設定したファイルを読み込む

メニューバーの「ファイル (F)」>「開く (O)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて印刷するファイルを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて変換する手書きデータを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。

印刷の設定をする



メニューバーの「ファイル (F)」>「ページ設定 (U)」をクリックします。

使用しているプリンタに合わせて用紙設定、印刷設定を行います。

手書きデータの位置補正

パソコンに取り込んだ手書きのデータと、運用フォームの位置がずれているときは、位置補正をかけて手書きデータの位置を調整します。

キーボード上のカーソルキーを打鍵する事で、手書き入力データの位置を補正できます。

1. イメージウインドウ内をクリックし、ウインドウをアクティブ状態にします。

2. 下記の表に従い、キーボードで操作が行えます。

※上[↑]、下[↓]、左[←]、右[→]の移動が可能です。

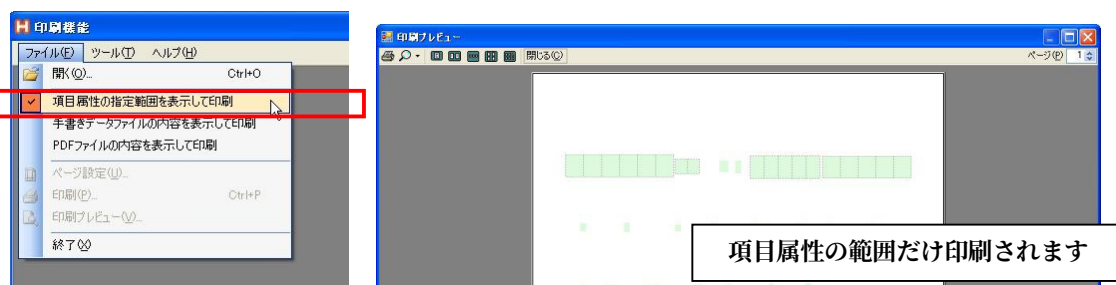
※[Shift]キー、[Ctrl]キーと組み合わせた操作でより細かい位置修正が可能です。

キー操作	移動する距離
カーソルキー	1mm
[Shift] + カーソルキー	0.1mm
[Ctrl] + カーソルキー	5mm

項目属性の指定範囲を表示して印刷する

メニューバーの「ファイル (F)」>「項目属性の範囲を表示して印刷」をクリックします。

この設定を選択すると、項目設定範囲の背景色と文字認識項目の枠が表示された状態で印刷されます。



手書きデータファイルの内容を表示して印刷する

メニューバーの「ファイル (F)」>「手書きデータファイルの内容を表示して印刷」をクリックします。

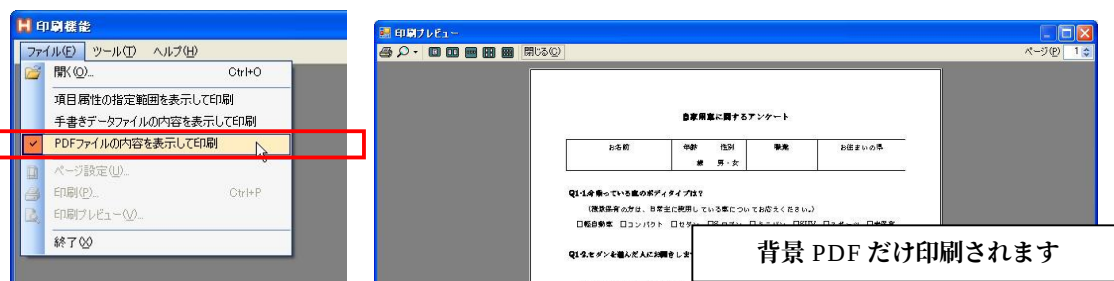
この設定を選択すると、手書きデータのストロークが表示された状態で印刷されます。



PDF ファイルの内容を表示して印刷する

メニューバーの「ファイル (F)」>「PDF ファイルの内容を表示して印刷」をクリックします。

この設定を選択すると、PDF の背景が表示された状態で印刷されます。



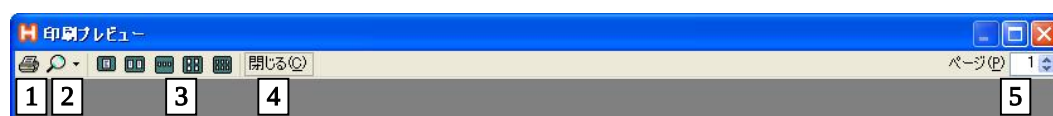
上記の表示を組み合わせて印刷することが出来ます。

(背景 PDF ファイルと手書きデータを重ねて印刷することも出来ます。)

印刷プレビューを表示する

メニューバーの「ファイル (F)」>「印刷プレビュー (V)」をクリックします。

プレビューウィンドウが表示されます。



番号	名称	説明
1	印刷の実行	印刷を実行します
2	拡大表示	自動、500%、200%、150%、100%、75%、50%、25%、10%の中から好きなサイズを選んで表示できます
3	複数ページのプレビューを表示	複数ページのプレビューを同時に見ることが出来ます。
4	プレビューを閉じる	プレビューウィンドウを閉じます
5	ページ移動	表示するページを変更します

デジタルノートパッドでデータを記入する

印刷した用紙を、対応するデジタルノートパッドにセットして専用ペンで情報を記入してください。

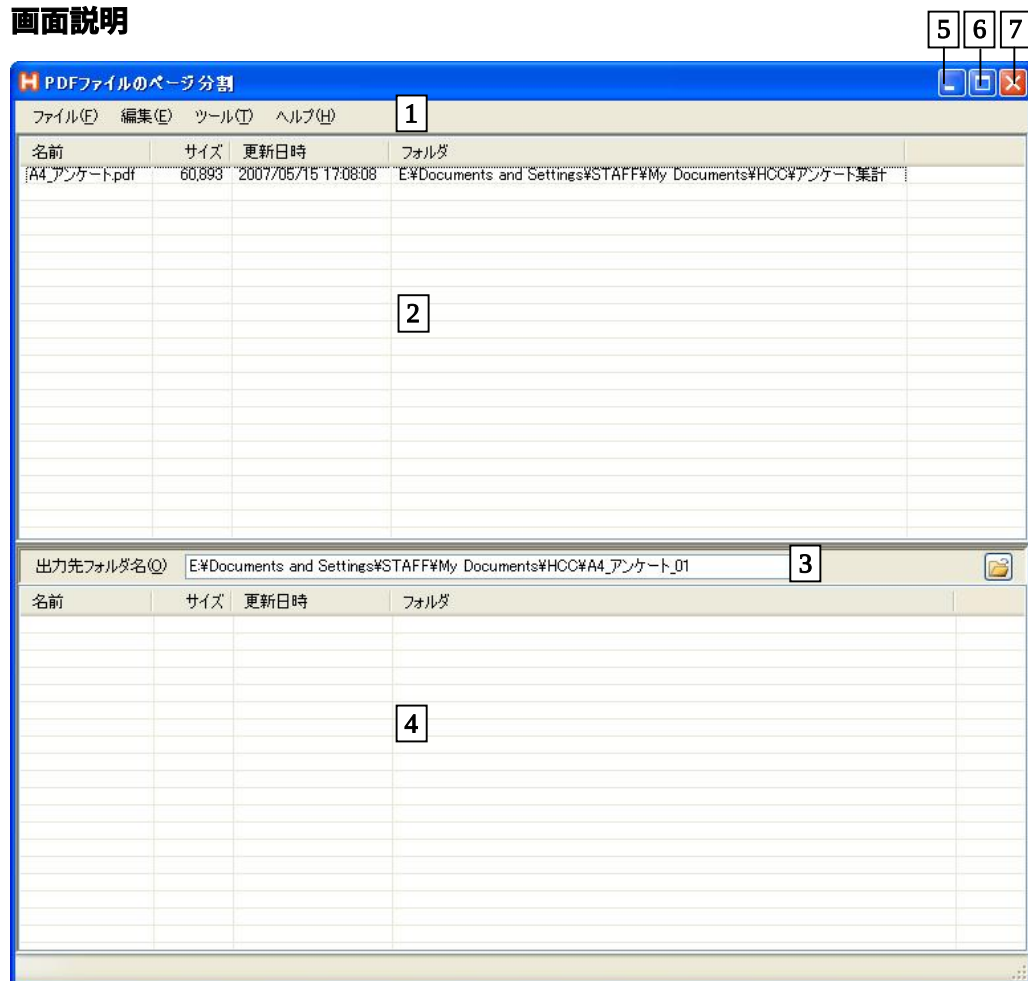
デジタルノートパッドの操作については、同製品のマニュアルを参照してください。

第 7 章 -修正機能- PDF ファイルのページ分割

HCC では 1 ページごとに項目属性を定義します。

定型フォーマットが複数ページの場合、ここでページの分割を行います。

画面説明



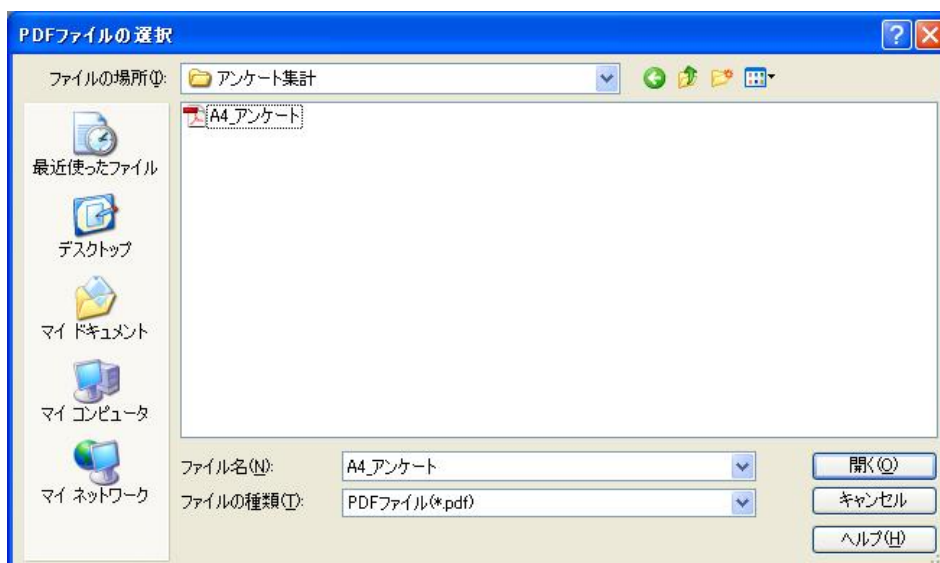
番号	名称	説明
1	メニューバー	PDF ファイルのページ分割機能全般
2	元ファイル表示パネル	分割前の PDF ファイルの情報を表示します
3	出力先指定バー	分割ファイルの保存先を指定します
4	分割ファイル表示パネル	ページ分割後の PDF ファイル情報を表示します
5	最小化ボタン	ウィンドウを最小まで縮小してタスクバーに置くボタン
6	最大化ボタン	ウィンドウを拡大するボタン
7	閉じるボタン	ウィンドウを閉じるボタン

PDF ファイルを読み込む

メニューバーの「ファイル (F)」>「開く (O)」をクリックします。

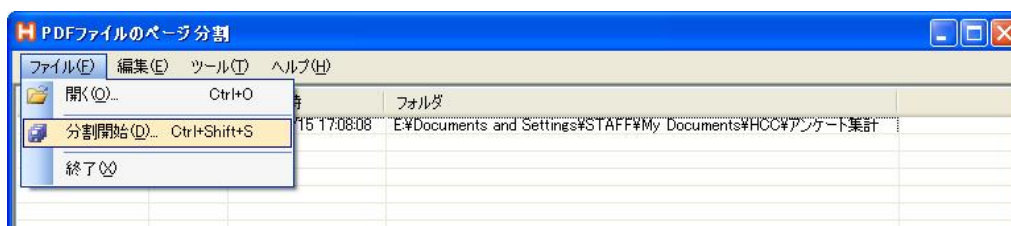


「PDF ファイルの選択」のダイアログボックス内にて分割するファイルを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



PDF ファイルを分割する

メニューバーの「ファイル (F)」>「分割開始 (D)」をクリックします。



自動的に PDF ファイルの分割が開始され、分割前の PDF ファイルが保存されているフォルダにファイルが保存されます。

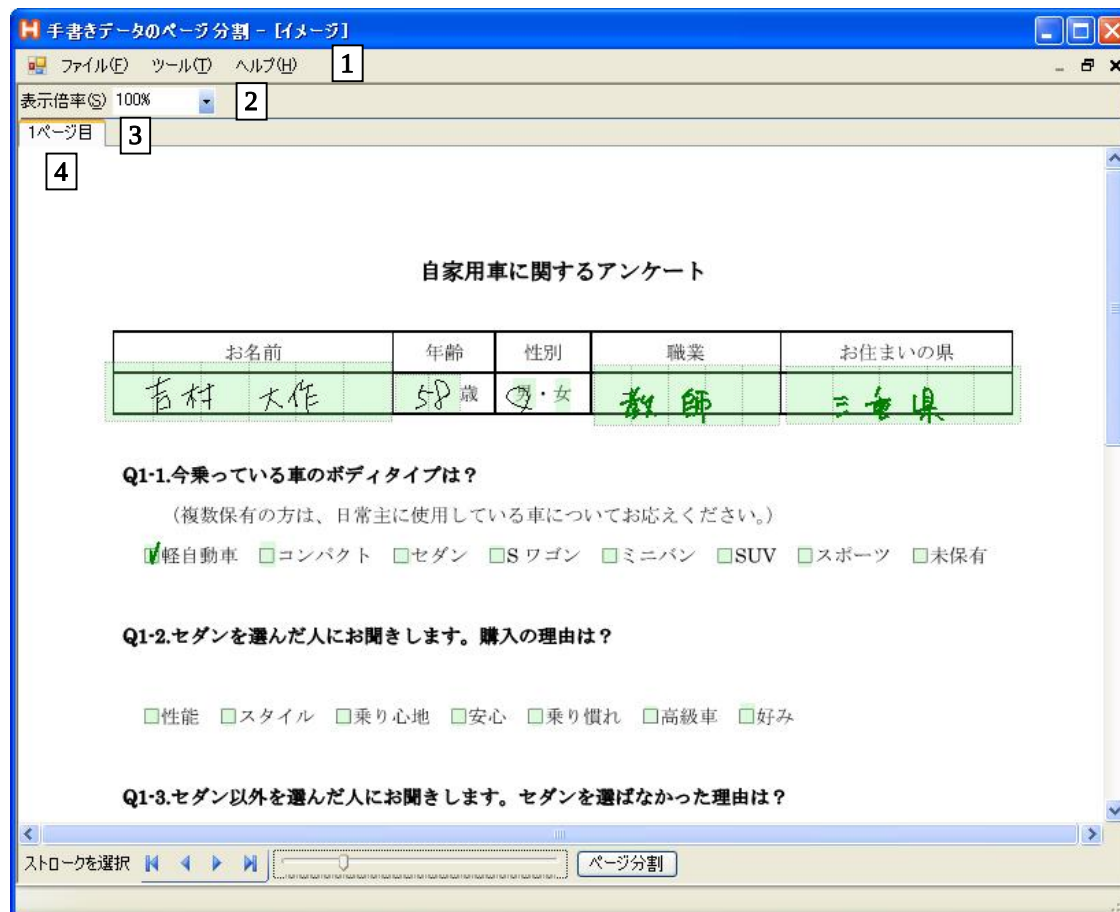
※分割された pdf ファイルは「元のファイル名+〇〇〇 (連番)」で自動的に保存されます。

保存先のフォルダを変更する場合は、「出力先指定バー」の右側の  をクリックして、保存先を指定してください。

第8章 修正機能- 手書きデータのページ分割

通常の操作では必要ありませんが、デジタルノートパッドの改ページボタンを押さずに、複数枚のデータを記入した場合、任意のストロークでページの分割ができます。

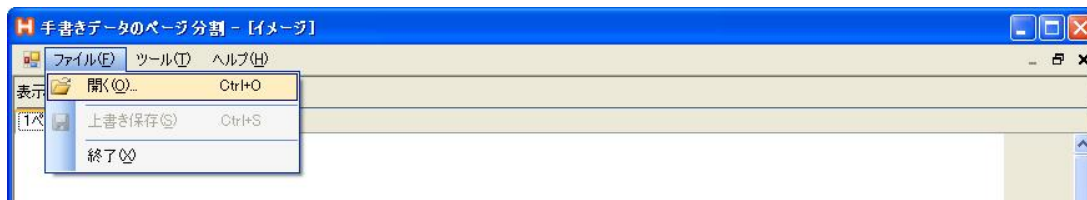
画面説明



番号	5 名称	6 7 説明
1	メニューバー	項目属性ファイル作成の機能全般
2	表示倍率ダイアログ	イメージウインドウの表示倍率を選択できます
3	ページタブ	現在表示しているページ番号を表示します
4	イメージウインドウ	項目設定した定型フォームを表示するエリアです
5	ストローク移動ボタン	書き込まれたストロークの順序を指定します
6	ストローク移動バー	書き込まれたストロークの順序を指定します
7	ページ分割ボタン	ページ分割を実行します

分割するファイルを開く

メニューバーの「ファイル (F)」>「開く (O)」をクリックします。



「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて分割するファイルを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。

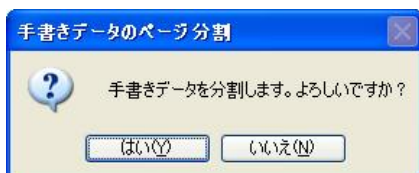


ページ分割を実行する

「ストローク移動ボタン」または「ストローク移動バー」を動かして、ストロークを分割するポイントを設定します。

細い黒色で表示されたストロークと、太く深緑色に表示されたストロークでページを分けます。

ページ分割 ボタンをクリックすると確認のウィンドウが表示されます。



はい (Y) をクリックするとページが分割されます。

元のファイル名の末尾に「_01」「_02」の番号がついたファイルが作成されます。

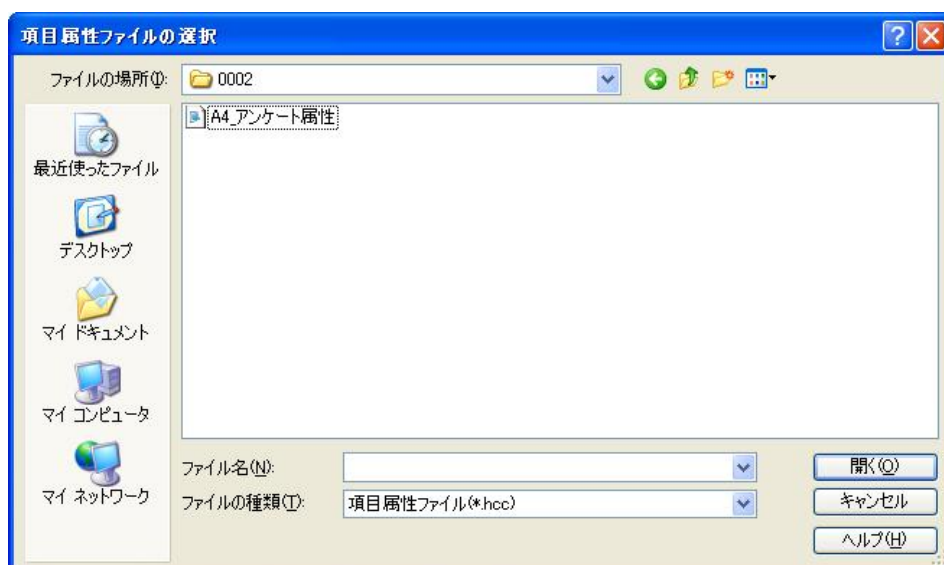
第9章 -修正機能- 変換データの修正

HCC で変換した CSV データを、記録した手書きデータを参照しながら、編集・修正することが可能です。

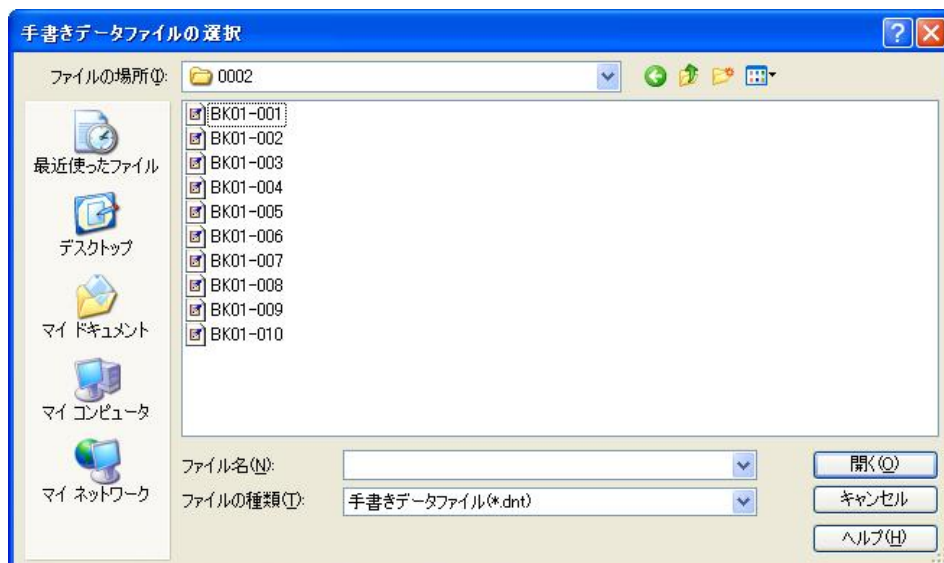
ファイルを開く

メニューバーの「ファイル (F)」>「開く (O)」をクリックします。

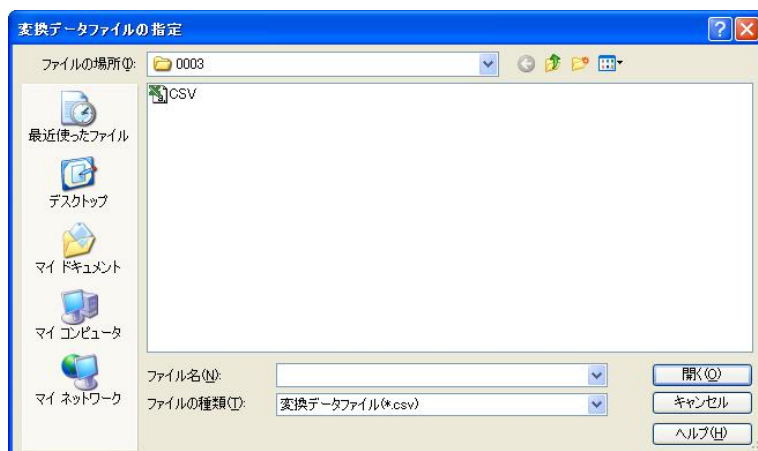
「項目属性ファイルの選択」のダイアログボックス内にて項目属性を設定した定型フォームを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



「手書きデータファイルの選択」のダイアログボックス内にて変換する手書きデータを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



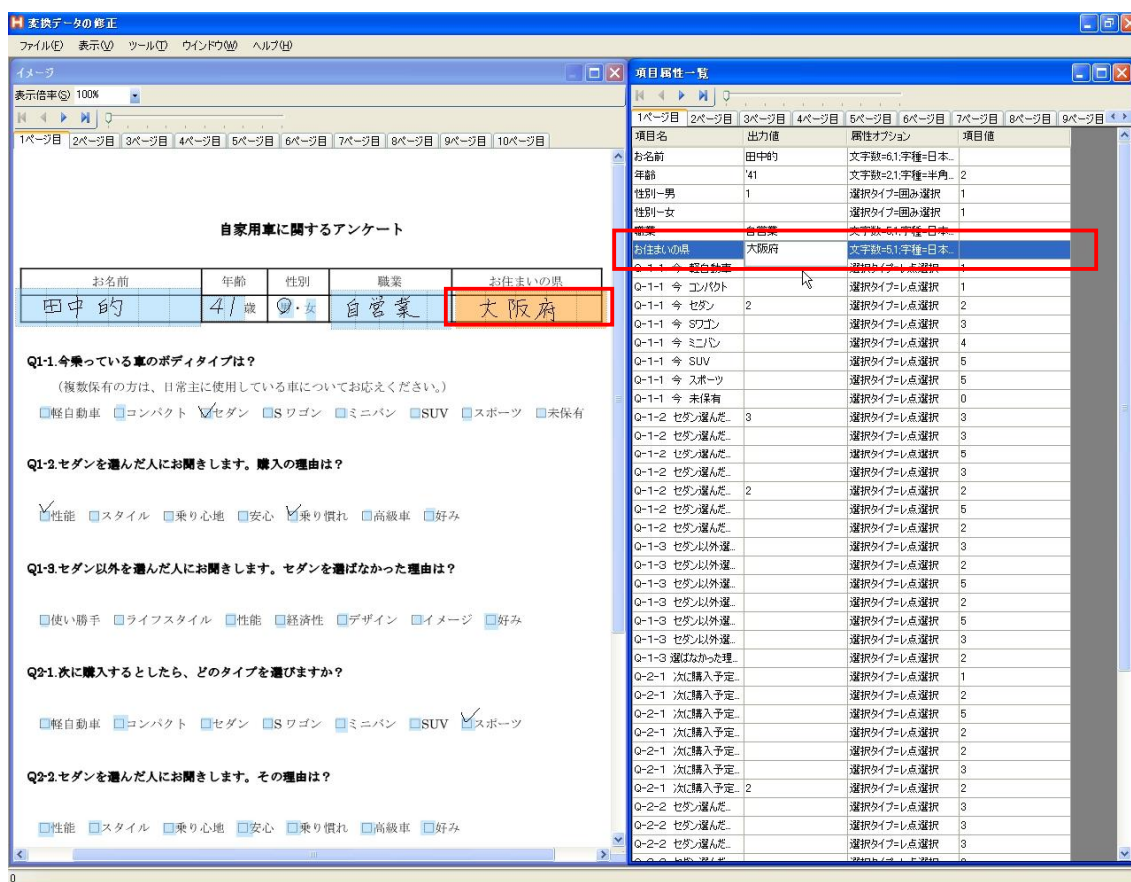
「変換データファイルの指定」のダイアログボックス内にて修正する CSV ファイルを検索し、ダブルクリックまたは、**開く (O)** ボタンをクリックして該当ファイルを開きます。



CSV データを修正する

変更したい箇所にマウスカースルを移動して、左クリックします。

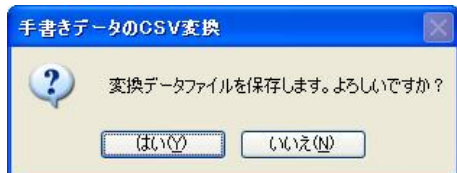
選択した箇所が反転し入力可能になりますので直接データを入力してください。



ファイルを保存する

メニューバーの「ファイル (F)」>「名前を付けて保存 (A)」をクリックします。

確認メッセージが表示されるので、をクリックします。



「変換データファイルの指定」のダイアログボックスが表示されます。

保存場所を選択しファイル名を入力し、Enter キーまたは、ボタンをクリックしてファイルを保存します。



卷末

HCC での文字認識における文字種の組み合わせについて

1 文字種の組み合わせ

HCC の文字認識における文字種が、実際にどの文字種を含んでいるかについて示します。

HCC での文字種	対象となる文字種
日本語+英数字	ひらがな、カナカナ、アルファベット、JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字、数字、記号、ギリシャ文字、句読点
ひらがな	ひらがな、記号、句読点
カタカナ	カタカナ、記号、句読点
ローマ字	アルファベット、記号、句読点
全角数字	数字
半角数字	数字
数値	数字

2 認識文字一覽

2.1 記号

(83 文字)

? ! ^ _ \ ` > \$ // 全 々 ✕ ○ —
 / \ ~ || | () □ ▢ { <
 > 《 》 「 」 『 』 + - ± × ÷ = ≠ < >
 ≤ ≥ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ' ¥ \$ % # & * @ §
 ☆ ○ ◎ ◇ □ △ ▽ ※ ⇄ → ← ↑ ↓ ∧ ∨
 ≡ Σ √

2.2 句読点

(11 文字)

٧٠٩٠ • : : ٦ ١٦ ١١

2.3 数字

(30 文字)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

2.4 アルファベット

(52 文字)

A B C D E F G H I J K L M N O P
Q R S T U V W X Y Z a b c d e f
g h i j k l m n o p q r s t u v
w x y z

2.5 ひらがな

(83 文字)

あ あ い う え お お か が き ぎ く ぐ
け げ こ ざ ざ し じ す ず せ ぜ そ ぞ た だ
ち ぢ っ っ つ づ て で と ど な に ぬ ね の は ば
ぱ ひ び び ふ ぶ ぶ へ べ べ ほ ぼ ぼ ま み む
め も や や ゆ ゆ よ よ ら り る れ ろ わ わ ゐ
ゑ を ん

2.6 カタカナ

(86 文字)

アアイイウウェエオオカガキギクグ
ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
チヂッツツテデトナニヌネノハバ
パヒビピフブプヘベペホボボマミム
メモヤユユヨヨラリルレロウワヰ
ヱヲンヴカケ

2.7 ギリシャ文字

(38 文字)

Δ Σ Φ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ
ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω Ι ΙΙ ΙΙΙ ΙV
V VΙ VΙΙ VΙΙΙ ΙΧ Χ

2.8 JIS 第一水準漢字

(2981 文字)

- 1 -

啞哇娃阿哀愛挨始 逢葵茜穉惡握渥旭 葦芦鯪梓压幹扱宛 姐虻飴絢綾鮎或粟
裕安庵按暗案闇鞍 杏以伊位依偉囿夷 委威尉惟意慰易椅 為畏異移維緯胃萎
衣謂違遺医井亥域 育郁磯一壹溢逸稻 茨芋鰯允印咽員因 姻引飲淫胤蔭院陰
隱韻吋右宇烏羽迂 雨卯鵜窺丑碓臼渦 噓唄鬱蔚鰻姥廐浦 瓜閏嚙云運雲荏餌

- 2 -

叡宮嬰影映曳榮永 泳洩瑛盈穎穎英衛 詠銳液疫益駢悅謁 越閱榎厭円園堰奄
宴延怨掩援沿演炎 焰煙燕猿緣艷苑菌 遠鉛鴛塩於汚甥凹 央奧往忝押旺橫欧
毆王翁襖鶯鴟黃岡 沖荻億屋憶臆桶牡 乙俺卸恩溫穩音下 化佻何伽伽佳加可
嘉夏嫁家寡科暇果 架歌河火珂禍禾稼

- 3 -

箇花苛茄荷華菓蝦 課嘩貨迦過霞蚊俄 峨我牙画臥芽蛾賀 雅餓駕介会解回塊
壞迴快怪悔恢懷戒 拐改魁晦械海灰界 皆繪芥蟹開階貝凱 効外咳害崖慨概涯
碍蓋街該鎧骸湮馨 蛙垣柿蛭鈎鈎劃嚇各 廓拈攪格核殼獲確 穫覺角赫較郭閣隔
革學岳樂額額掛笠 櫟樞梔鰵瀉割喝恰 括活渴滑葛褐轄且 鯉叶栳樺鞞株兜竈

- 4 -

蒲釜鏐啗鴨栢茅萱	粥刈苧瓦乾侃冠寒	刊勘勸卷喚堪姦完	官寬干幹患感憤憾
換敢柑桓棺款欽汗	漢澗漚環甘監看竿	管簡緩缶翰肝艦莞	覬諫貫還鑑間閑閑
陷韓館館丸含岸巖	玩癌眼岩翫贗雁頑	顏願企伎危喜器基	奇嬉寄岐希幾忌揮
机旗既期棋棄機歸	毅氣汽畿祈季稀紀	徽規記貴起軌輝飢	騎鬼龜偽儀妓宜戲

- 5 -

技擬欺犧疑祇義蟻	誼議掬菊鞠吉吃喫	桔橘詰砧杵黍却客	脚虐逆丘久仇休及
吸弓弓急救朽求汲	泣灸球究窮笈級糾	給旧牛去居巨拒拋	拳渠虛許距鋸漁禦
魚亨享京供俠僑兇	競共凶協匡卿叫喬	境峽強彊怯恐恭挾	教橋況狂狹矯胸脅
興蕎鄉鏡響饗驚仰	凝堯曉業局曲極玉	桐籽僅勤均巾錦斤	欣欽琴禁禽筋緊芹

- 6 -

菌衿襟謹近金吟銀	九俱句区狗玖矩苦	軀驅駙駒具愚虞喰	空偶寓遇隅串櫛釧
屑屈掘窟沓靴轡窪	熊隈叅栗縲桑鋤勳	君薰訓群軍郡卦袞	祁係傾刑兄啓圭珪
型契形徑惠慶慧憩	揭携敬景桂溪畦稽	系經繼繫罍莖荊蚩	計詣警輕頸鷄芸迎
鯨劇戟擊激隙桁傑	欠決潔穴結血訣月	件俟倦健兼券劍喧	圈堅嫌建憲懸拳捲

- 7 -

檢榷牽犬猷研硯絹	梟肩見謙賢軒遣鍵	險顛駮鹵元原廠幻	弦減源玄現絃絃言
諺限乎個古呼固姑	孤己庫弧戶故枯湖	狐糊袴股胡菰虎誇	跨鈇雇顧鼓五互伍
午吳吾娛後御悟梧	檣瑚碁語誤護餉乞	鯉交佼候候倖光公	功效勾厚口向后喉
坑垢好孔孝宏工巧	巷幸庑庚康弘恒慌	抗拘控攻昂晃更杭	校梗構江洪浩港溝

- 8 -

甲皇硬稿糠紅紃絞	綱耕考肯肱腔膏航	荒行衡講貢購郊酵	鉞砮鋼閤降項香高
鴻剛劫号合壕拷濠	豪轟趨克刻告国穀	酷鵠黑獄漉腰甌忽	惚骨狍込此頃今困
坤壘婚恨懇昏昆根	梱混痕紺艮魂些佐	叉唆嵯左差查沙磋	砂詐鎖褻坐座挫債
催再最哉塞妻宰彩	才採栽歲濟災采犀	碎砦祭齋細菜裁載	際劑在材罪財冴坂

- 9 -

阪堺榭肴咲崎埼碕	鷺作削咋搾昨朔柵	窄策索錯桜鮭笹匙	冊刷察撙撮擦札殺
薩雜臯鯖捌鏑鮫皿	晒三傘參山慘撒散	棧燦珊產算纂蚤讚	贊酸餐斬暫殘仕仔
伺使刺司史嗣四士	始姉姿子屍市師志	思指支孜斯施旨枝	止死氏獅祉私糸紙
紫肢脂至視詞詩試	誌諮資賜雌飼齒事	似侍兕字寺慈持時	次滋治爾璽痔磁示

- 10 -

而耳自蒔辞汐鹿式	識鳴竺軸穴零七叱	執失嫉室悉濕漆疾	質實蔀篠僂柴芝屨
蕊縞舍写射捨赦斜	煮社紗者謝車遮蛇	邪借勺尺杓灼爵酌	釈錫若寂弱惹主取
守手朱殊狩珠種腫	趣酒首儒受呪寿授	樹綬需囚収周宗就	州修愁拾洲秀秋終
繡習臭舟蒐衆襲讐	蹴輯週酋酬集醜什	住充十從戎柔汁洩	獸縱重銃叔夙宿淑

-11 -

祝縮肅塾熟出術述	俊峻春瞬竣舜駿准	循旬楯殉淳準潤盾	純巡遵醇順処初所
暑曙渚庶緒署書薯	諸諸助叙女序徐恕	鋤除傷償勝匠升召	哨商唱嘗獎妾娼宵
將小少尚庄床廠彰	承抄招掌捷昇昌昭	晶松梢樟樵沼消涉	湘燒焦照症省硝礁
祥称章笑粧紹肖莒	蔣蕉衝裳訟証詔詳	象賞醬鉦鍾鐘障鞘	上丈丞乘冗剩城場

-12 -

壤孃常情擾条杖淨	狀疊穰蒸讓釀錠囑	埴飾拭植殖燭織職	色蝕食蝕辱尻伸信
侵唇娠寢審心慎振	新晉森榛浸深申疹	真神秦紳臣苾薪親	診身辛進針震人仁
刃塵壬尋甚尽腎訊	迅陣鞞笥誣須酢囟	厨逗吹垂帥推水炊	睡粹翠衰遂醉錐錘
随瑞髓崇嵩数枢趨	雛据杉相菅頗雀裾	澄摺寸世瀨畝是淒	制勢姓征性成政整

-13 -

星晴棲栖正清牲生	盛精聖声製西誠誓	請逝醒青靜齊稅脆	隻席惜戚斥昔析石
積籍績脊責赤跡蹟	碩切拙接撰折設窃	節說雪絕舌蟬仙先	千占宣專尖川戰扇
撰桎桎泉浅洗染潜	煎煽旋穿箭線織羨	腺舛船薦詮賤踐選	遷錢銑閃鮮前善漸
然全禪繕膳糲噲塑	岨措曾曾楚狙疏疎	礎祖租粗素組蘇訴	阻遯鼠僧創双叢倉

-14 -

喪壯奏爽宋屠匝惣	想搜掃掃搔操早曹	巢槍槽漕燥争瘦相	窓糟綜綜聰草莊葬
蒼藻裝走送遭鎗霜	騷像增憎臧藏贈造	促側則即息捉束測	足速俗属賊族統卒
袖其揃存孫尊損村	遜他多太汰詫唾墮	妥愜打柁舵檣陀駄	驛体堆対耐岱帶待
怠態戴替泰滯胎腿	苔袋貸退逮隊黛鯛	代台大第醍題鷹淹	瀧卓啄宅托扱拓沢

-15 -

濯琢託鐸濁諾茸夙	蛸只叩但達辰奪脱	巽豎辿棚谷狸鱈樽	誰丹單嘆坦担探旦
歎淡湛炭短端筭綻	耽胆蛋誕鍛团壇彈	断暖檀段男談值知	地弛恥智池痴稚置
致蜘蛛馳築畜竹筑	蓄逐秩窒茶嬌着中	仲宙忠抽昼柱注虫	衷註耐鑄駐樗獮猪
芋著貯丁兆凋喋寵	帖帳庁弔張彫徵徵	挑暢朝潮牒町眺聴	脹腸蝶調諜超跳銚

-16 -

長頂烏勅涉直朕沈	珍賃鎮陳津墜椎槌	追鎚痛通塚梅掴槻	佃漬柘辻薦綴鍔椿
漬坪壺孀紬爪吊釣	鶴亭低停偵剃貞呈	堤定帝底庭廷弟悌	抵挺提梯汀碇禎程
締艇訂諦蹄遞邸鄭	釘鼎泥摘擢敵滴的	笛適鐫溺哲徹撤轍	迭鉄典填天展店添
纏甜貼軫顛点伝殿	澱田電兎吐堵塗妬	屠徒斗杜渡登菟賭	途都鍍砥砺努度土

-17 -

奴怒倒党冬凍刀唐	塔塘套宕島嶋悼投	搭東桃拷棟盜洵湯	涛灯燈当痘禱等答
筒糖統到董蕩藤討	騰豆踏逃透鐙陶頭	騰鬪働動同堂導懂	撞洞瞳童胴萄道銅
峠鴛鴦得德滂特督	禿篤毒独読栃椽凸	突楸届鳶苦寅酉瀨	噸屯惇敦沌豚遁頓
呑曇鈍奈那内乍凧	薙謎灘捺鍋櫓馴縄	噉南楠軟難汝二尼	弍迺勾賑肉虹廿日

-18 -

乳入如尿菲任妊忍	認濡襦祢寧葱猫熱	年念捻撚燃粘乃迺	之埜囊惱濃納能腦
膿農硯蚤巴把播霸	杷波派琶破婆罵芭	馬俳靡捩排敗杯盃	牌背肺輩配倍培媒
梅煤煤猥買壳賠陪	這蠅秤矧荻伯剥博	拍柏泊白箔粕舶薄	迫曝漠爆縛莫駁麦
函箱碇箸箸櫨幡	肌焮畠八鉢澆癸醜	髮伐罰拔筏閱鳩噉	塙蛤隼伴判半反叛

-19 -

帆搬斑板汜汎版犯	班畔繁般藩販範采	煩煩飯挽晚番盤磐	蕃蛩匪卑否妃庇彼
悲扉批披斐比泌疲	皮碑秘緋罷肥被誹	費避非飛樋簸備尾	微枇毘琵琶眉美鼻佟
稗匹疋髭彥膝菱肘	弼必畢筆逼桢姬媛	紐百謬倭彪標冰漂	瓢票表評豹廟描病
秒苗錨鉅蒜蛭鱸品	彬斌浜瀕貧賓頻敏	瓶不付埠夫婦富富	布府怖扶敷斧普浮

-20 -

父符腐膚芙譜負賦	赴阜附侮撫武舞葡	蕪部封楓風葦落伏	副復幅服福腹複覆
淵弗舛沸仏物鮒分	吻噴墳憤扮焚奮粉	糞紛雰文聞丙併兵	塤幣平弊柄並蔽閉
陞米頁僻壁癖碧別	瞥蔑篋偏變片篇編	辺返遍便勉婉弁鞭	保舖鋪圃捕步甫補
輔穗募墓慕戊暮母	簿菩倣俸包呆報奉	宝峰峯崩庖抱捧放	方朋法泡烹砲縫胞

-21 -

芳萌蓬蜂褒訪豐邦	鋒飽鳳鵬乏亡傍剖	坊妨帽忘忙房暴望	某棒冒紡肪膨謀貌
質鉾防吠頰北僕卜	墨撲朴牧睦穆鈞勃	沒殆堀幌奔本翻凡	盆摩磨魔麻埋妹昧
枚每哩禎幕膜枕鮪	枉鱗櫛亦俟又抹末	沫迄佟繭廔万慢滿	漫蔓味未魅已箕岬
密蜜湊蓑稔脈妙耗	民眠務夢無牟矛霧	鷓棕婿娘冥名命明	盟迷銘鳴姪牝滅免

-22 -

棉綿麵麵摸模茂	妄孟毛猛盲網耗蒙	儲木默目杳勿餅尢	戾戾貫問悶紋門勿
也冶夜爺耶野弥矢	厄役約藥詛躍靖柳	藪鏹愉愈油癒諭輸	唯佑優勇友宥幽悠
憂揖有柚湧涌猶猷	由祐裕誘遊邑郵雄	融夕予余与譽輿預	傭幼妖容庸揚搖擁
曜楊樣洋溶溶用窯	羊耀葉蓉要謠踊遙	陽養慾抑欲沃浴翌	翼淀羅螺裸來萊賴

-23 -

雷洛絡落酪乱卵嵐	欄濫藍蘭覽利吏履	李梨理璃痢裏裡里	離陸律率立莅掠略
劉流溜琉留硫粒隆	竜龍侶慮旅虜了亮	僚兩凌寮料梁涼獺	療瞭稜糧良諒遼量
陵領力綠倫厘林淋	熒琳臨輪隣鱗麟璫	垠淚累類令伶例冷	勵嶺伶玲礼苓鈴隸
零靈麗齡曆歷列劣	烈裂廉恋憐漣煉簾	練聯蓮連鍊呂魯櫓	妒賂路露勞婁廊弄

-24 -

朗樓榔浪漏牢狼箠	老聾蠟郎六麓祿肋	錄論倭和話歪賄脇	惑忤鷺互亘鰐詫藁
蕨椀灣碗腕			

2.9 JIS 第二水準漢字

(1095 文字)

- 1 -

丕井乖乘豫舒于亞	亟亢仄仗佛佗佇侈	侑來儘俟俎俚倂倚	倪倅俯倆偕倣倜傲
傳僞僭儉儷兀兒	兌免兢冤冠凜几凰	勿剝剋剪剝剗劍劒	勁勳旬乚卷彪曼叻
咩咨呖呵咎咄咄呻	咄哄咤哮哺哇啜啖	喀喘單啼噓噓噓嗟	嗜嘔嗽噎嘴嘲噪噓
嚴囂囁囫囵圈國圓	團圞圯址坏坭垚坡	圻坵坵埃垆垆垆垆	塢堡毀塢塢壞塢壘

- 2 -

壘壯壺壽夥天奎奘	奢奧獎奸妍甥婉娶	婢婪媚嬌孌子孕孵	學寔寔寔寔寔寔寔
專對屁屏屾岫岫岫	峽岫峙峽峽峽峽峽	峻嶸嶸嶸嶸嶸嶸嶸	帷幟幫廂廂廂廂廂
弩彈彌彎彎彗彗彗	徂徊從徘徊忖忖忖	恪恆恍恠恠恠恠恠	悍悞悞悞悞悞悞悞
悻悻悻悻悻悻悻悻	愴慄慄慄慄慄慄慄	憊憑憊憊憊憊憊憊	憊懼憊戊菱截戮戮戮

- 3 -

戲扁扣扼杼抓拔拗	拿拜拂拇拋拉拈拈	拈捐挾搜捏掎掎掎	揆揣揉插擲搖擲擲
搗搏摑攪撓撓撓撓	擲擲抬攪擲擲擲擲	攪攪攪攪攪攪攪攪	斟旆旱昵昂晏晝晨
晟晰暉暉暉暉暉	霸朶朶朶朶朶朶	枌枌枌枌枌枌枌枌	枌枌枌枌枌枌枌枌
條柳挺檣檣檣檣	桤桤桤桤桤桤桤	桤桤桤桤桤桤桤	楔楮楮楮楮楮楮

- 4 -

槐橙槁榷榷榷榷	樂樛樛樛樛樛樛樛	檄檢槩檻檻檻檻	樂鬱盜歆歆歆歆
毯麾氓氣汞汪沁沐	泄泓沽泗沮汙汙汙	洸洸洸洸洸洸洸	涅洸洸洸洸洸洸
渙渾湫涼游混滓溯	滔滕溥灌漿滲漱滯	滌滌潭澎澳澤澹澤	濕濱瀉瀉瀉瀉瀉
炒炯炬炸烟烙焉焙	煥熙煥煥煥煥煥煥	燒燎燧燧燧燧燧	犢狄狽狽狽狽狽

- 5 -

狽狽猥猥猥猥猥	玳瑁珀琥瑤瑤瑤	瑣瑣瑣瑣瑣瑣瑣瑣	畎畎畎畎畎畎畎
瘁瘁瘁瘁瘁瘁瘁	癩癩癩癩癩癩癩	盪盪盪盪盪盪盪盪	睛睿瞋瞋瞋瞋瞋
矜矮矧砌砌砌砌	磬磬磬磬磬磬磬	礫礫礫礫礫礫礫	祿禱齋禱禱禱
稠稟稟稻穗穢穢穢	窰窩竈竈竈竈竈	笏笏笏笏笏笏笏	笏笏笏笏笏笏笏

- 6 -

篁箴箴箴箴箴箴	籠簣簇簣簣簣簣	籟籟籟籟籟籟籟	糜糯糲糲糲糲糲
縵縵縵縵縵縵縵	縣縱縵縵縵縵縵	纏縵縵縵縵縵縵	罨罨罨罨罨罨罨
翻耆耆耆耆耆耆	聾聾聾聾聾聾聾	脛脛脛脛脛脛脛	脛脛脛脛脛脛脛
舅與舐舐舐舐舐	舐舐舐舐舐舐舐	茱茱茱茱茱茱茱	莎蒔莊茶菟莉莨莨

- 7 -

菲范萌莽莢葭茺萬	施蓀蔡蔗蓼蓐藁薑	薊蕘薺藪蓄藏藝藥	蘊藺蘆虔蛉螭咆蛛
蛭蜺蜀蛭蝻蜷蜻蜚	蝟蝮蠅螢螂蝥蟊蝮	蟠蠹衙衛袁衾衲袂	袈袂袂裔裝褻褻褻
褶襦觀覽覲謁訃訛	訝訥訶訾詭詢誅詆	誠誑誦誣諄諫諧諷	諛謗謠謳謫謨證譴
讒讚貪貶賤賣贊贊	聶贖趙趙趾跛跋踈	跬踞蹂蹉蹤蹠踪蹲	躁躑躑躬躑躑軋軋

- 8 -

軾輶輶輶輶轉輶	輶輶率辟辣亾迪邇	逯迨迨達遏遯遽邁	邊邊邏邾鄒鄙醉酩
釀釐釐釐釐釐釐	鉗鉤鉤鉤鉗鉗鉗	錚錚鋸鉗鎮鎔鑄鐵	鐵鎗鑄鑄鑄鑄閼閼
閼閼閼閼閼閼閼	阮陋陷隄隄隄險雉	雍雜霄霄霖霖靜勒	鞅鞅鞅韋頌頌頌頌
頌頌頌頌頌頌頌	餞餅饅饅饅饅饅	駛駝駝駝駝駝駝	驕驗髮髮髮髮鬣鬣

- 9 -

魏鮐鮐鮐鮐鮐鮐	鯨鯨鯨鯨鯨鯨鯨	鯨鯨鯨鯨鯨鯨鯨	鯨鯨鯨鯨鯨鯨鯨
鵲鵲鵲鵲鵲鵲鵲	黎微黿黿黿黿黿	昇增寬崎德昂朗榮	柳橫瀨神祥福綠緒
諸賴逸郎都高黑			

HCC におけるシステムパラメータの設定方法

1. システムパラメータの種類

HCC で使用されるシステムパラメータには以下の種類があります。

パラメータ名	意味	初期値
FirstReadIsFile	システム情報取得をファイル優先とするかどうかを保持します。 True: レジストリ→ファイルの順に取得します。 False: ファイル→レジストリの順に取得します。	True
Language	キャプションに使用する言語を指定します。 ja: 日本語 en: 英語	ja
PDFFileExt	PDF ファイルの拡張子を指定します。	.pdf
HCCFileExt	HCC ファイルの拡張子を指定します。	.hcc
DNTFileExt	DNT ファイルの拡張子を指定します。	.dnt
CSVFileExt	CSV ファイルの拡張子を指定します。	.csv
PenWidth	イメージウインドウに手書きデータを表示する際の線の太さをドット単位で指定します。	1.5
DividingDistance	手書きデータのページ分割の際に分割候補の判定基準として用いるストローク間の距離をミリ単位で指定します。 前のストロークよりも紙の左上方向に向かって離れていた場合、分割候補として表示されます。	50
DNTFileMaxCount	一度に読み込める DNT ファイルの上限を指定します。ここで指定された数までは読み込みます。	50
ShowPageButtonCount	ここで指定されたページ数以上になったとき、ページ移動ボタンを表示します。	10
A4MarginTop	Technote の A4 版を使って作成された DNT ファイルの補正值の垂直方向の初期値をミリ単位で指定します。	12

A4MarginLeft	Technote の A4 版を使って作成された DNT ファイルの補正値の水平方向の初期値をミリ単位で指定します。	5
ShowBeforeItemData	項目属性を設定する際、直前の値を再表示するかどうかを指定します。 True:直前の値を再表示します。 False:直前の値は再表示しません。	True
UnDefinedColorName	イメージウインドウで未定義の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	Cyan
UnDefinedColorAlpha	イメージウインドウで未定義の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
UnSelectedColorName	イメージウインドウで選択状態ではない項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	LightGreen
UnSelectedColorAlpha	イメージウインドウで選択状態ではない項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
SelectedColorName	イメージウインドウで単一選択状態の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	LightPink
SelectedColorAlpha	イメージウインドウで単一選択状態の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
MultiSelectedColorName	イメージウインドウで複数選択状態の項目属性を表示する際の色の名前を指定します。	Yellow
MultiSelectedColorAlpha	イメージウインドウで複数選択状態の項目属性を表示する際の色の透明度を 0 から 255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	75
RecogLineColorName	イメージウインドウで文字認識項目のマス目の枠線を表示する際の色の名前を指定します。	Black
RecogLineColorAlpha	イメージウインドウで文字認識項目のマス目の枠線を表示する際の色の透明度を 0 から	75

	255 の間で指定します。255 で完全に不透明になります。	
UseHCCSummary	「項目属性ファイルの概要」を使用するかしないかを指定します。 True:使用します。 False:使用しません。	True
UsePageSummary	「ページ概要」を使用するかしないかを指定します。 True:使用します。 False:使用しません。	True
SortTolerance	項目指定範囲によるソートの際に同一行とみなす高さのずれの範囲をミリ単位で指定します。	5

(ア) Language について

HCC では画面に表示するキャプションなどの文言は全てデータベース化しており、Language によって言語を切り替えることが出来るようになっています。

文言データベースは HCCInfo.ini と同じディレクトリに Resource.mdb という名前でインストールされます。このデータベースには基本データとして、「T_CAPTION_ja」「T_CAPTION_en」「T_CAPTION」という3つのテーブルがあります。それぞれ、日本語用、英語用、未定義用として用いています。HCC ではテーブル名の末尾と Language が一致するテーブルを用いて文言を取得する仕組みになっています。

したがって、対応する言語を増やす場合（例えばフランス語）、Resource.mdb に「T_CAPTION_fn」というテーブルを作成し、Language=fn とするだけで、HCC をフランス語表示に切り替えることが出来ます。

(イ) 色の名前について

記述することが出来る色の名前（Yellow や Cyan など）は、
<http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/aa358802.aspx>
を参照してください。

2. レジストリ

システムパラメータはレジストリの「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HCC」に書き込まれます。このレジストリは HCC がインストールされた時点では作成されていませんが、HCC の最初の起動時に作成されます。

また、HCC をアンインストールした後もレジストリの内容は削除されずに残っています。

3. 設定ファイル

HCC をインストールしたディレクトリ（デフォルトでは C:¥Program Files¥KAIREN¥HCC）に SYS というフォルダがあり、その下に「HCCInfo.ini」という名前のテキストファイルがあります。HCC は起動した際、レジストリのシステムパラメータを取得した後、このファイルから更にシステムパラメータを取得します。したがって、レジストリに書かれた内容よりも設定ファイルに書かれた内容が優先されることになります。

ただし、システムパラメータの「FirstReadIsFile」によって、優先順位を変更することができます。

設定ファイルはシフト JIS コードで書かれた通常のテキストファイルであり、メモ帳などで開くことが出来ます。ファイルには「パラメータ = 値」の形でシステムパラメータを記述します。このとき、パラメータは大文字・小文字、半角・全角の区別がありますので注意してください。また、設定ファイル内にはコメントなどは書けませんし、1 行に複数の「パラメータ = 値」を記述することも「パラメータ = 値」を複数の行にまたがって記述することも出来ません。

『Handwriting Data Collection and Conversion System』 取扱説明書 v1.1

2008 年 10 月 第 3 版発行

発行 有限会社 海連

©2007 KAIREN Co.Ltd.,All rights reserved.